

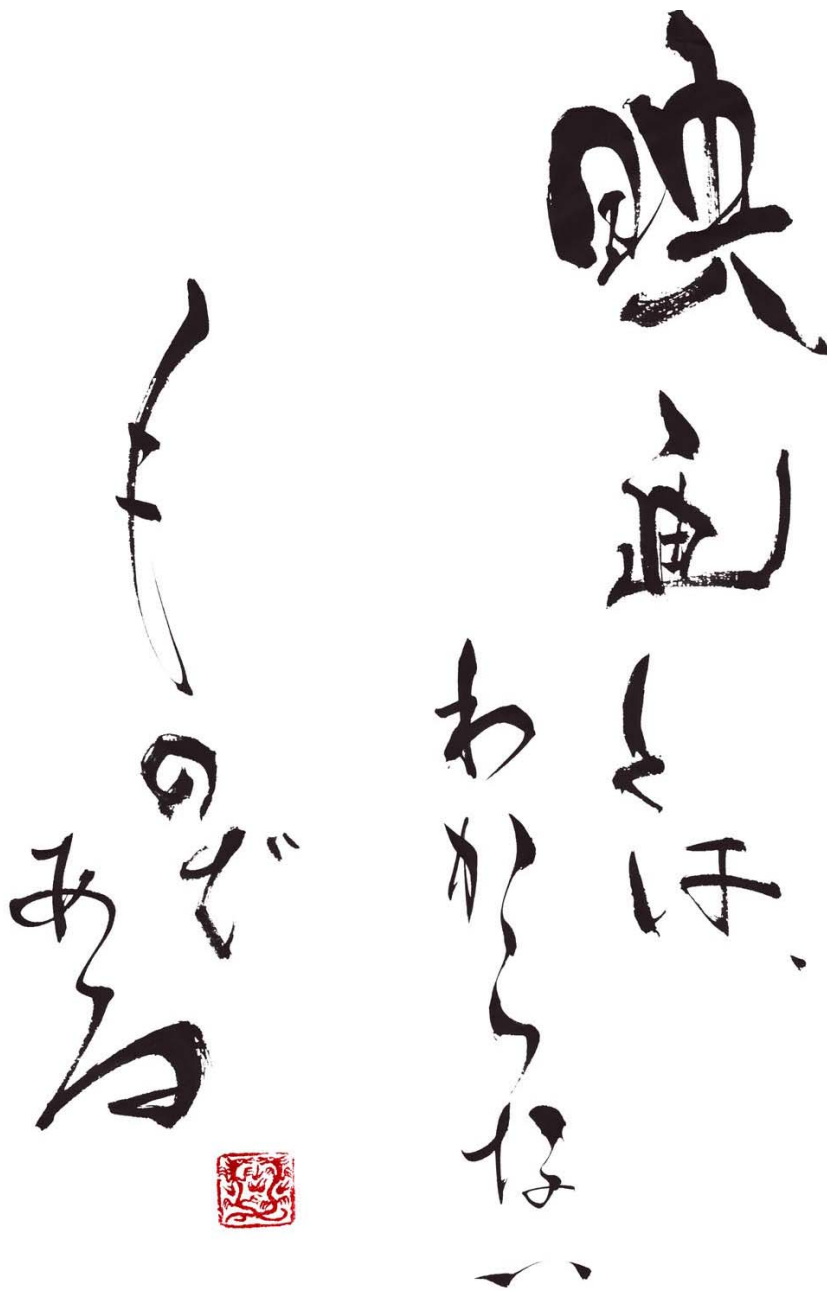


書道家
武田双龍



先月の「イカす人・綺麗な人」珠玉の言葉
大森一樹

×



第二十五筆

映画とは、わからないものである。

鈴木清順監督は「映画を撮るといことは、いちばん悲しいことかもしれない」と言われているけど、自分の実感としてはいくら撮っても「映画は、わからない」。映画は、こういうもんだと決められない。撮った意味とかは、後から出てくることもあるし、無意識に以前に撮ったものと重なったり。映画がわかったという人は傲慢ですよ。常に“今”を意識しています。それは自分の生き方にも反映されると思う。

武田双龍

書の道も映画と同様、理解することは非常に難しいです。過去の自分の作品を忘れ去り、新たな想いで筆をとりました。

昭和五十九年熊本県生まれ。三歳より書を学び始め、母・武田双葉に師事。書道家・武田双雲は実兄。書道教室 ふたばの街を開講。テレビや新聞、雑誌など幅広いメディアで活動中。
<http://so-ryu.com/>